

# 第90回 愛媛県内企業動向アンケート調査結果

－2017年度上期実績及び2017年度下期見通し－

## 【調査要領】

1	調査目的：愛媛県における企業の経営実態と景気動向の把握
2	調査対象：愛媛県内に事務所を置く企業
3	調査方法：郵送によるアンケート調査
4	調査時期：2017年11月
5	調査期間：前期実績 2017年度上期（2017年4月～2017年9月） 当期見通し 2017年度下期（2017年10月～2018年3月）
6	調査項目：業況判断（業況の総合判断）、売上高、収益、雇用、 設備投資、経営課題

## 【回答状況】

業種		調査企業数 (社)	回答企業数 (社)	回答率 (%)	構成比 (%)
全産業		761	368	48.4	100.0
製造部門	製造業	139	83	59.7	22.6
	建設業	114	46	40.4	12.5
	農林水産業	69	17	24.6	4.6
非製造部門	卸売業	89	41	46.1	11.1
	小売業	97	51	52.6	13.9
	不動産業	36	14	38.9	3.8
	運輸・通信業	76	46	60.5	12.5
	サービス業	141	70	49.6	19.0

## ◇ 全体要約

1. 2017年度上期（4～9月）の業況判断DIは、+8（前期比▲7）。  
部門別：製造+13（同▲15）、非製造+4（同▲3）。  
全部門で悪化だが好転超の範囲（2期連続）。全体・製造部門は9期連続で好転超。
2. 2017年度下期（10～3月）の業況判断見通しDIは、+12（同+4）。  
部門別：製造+15（同+2）、非製造+10（同+6）。  
全部門で改善の見通し、3期連続好転超となる。
3. 2017年度上期（4～9月）の売上高DIは、+13（前期比▲1）。  
部門別：製造+12（同▲17）、非製造+14（同+10）。  
全部門で好転超（2期連続）。製造部門は▲17だが9期連続の好転超。
4. 2017年度上期（4～9月）の収益DIは、+3（前期比▲11）。  
部門別：製造+6（同▲27）、非製造+1（同▲2）。  
全部門で悪化だが好転超の範囲（2期連続）。全体・製造部門は9期連続で好転超。
5. 2017年度上期（4～9月）の雇用DIは、▲40（前期比▲4）。  
部門別：製造▲43（同▲3）、非製造▲38（同▲5）。  
全部門で14期連続（2010年度下期～）人手不足。製造部門▲43は過去最低（1997年～）。
6. 2017年度上期（4～9月）の設備投資（実施割合）は、43%（前期比▲1%）。  
部門別：製造53%（同+7%）、非製造部門が36%（同▲6%）。  
企業の積極的な姿勢は変わらず。製造部門53%は過去20年で2番目の高さ。

以 上

◇ **業況判断** 2017年度上期実績は+8（7割悪化）、2017年度下期見通しは+12（4割改善）

○ 2017年度上期（4～9月）の実績

【全体】 +8（前期比▲7）

【部門別】 製造 +13（同▲15）、非製造 +4（同▲3）

- ・前期比で全部門とも悪化した。全部門とも好転超の範囲内（2期連続）。
- ・全体・製造部門は、2013年度上期～9期連続の好転超。

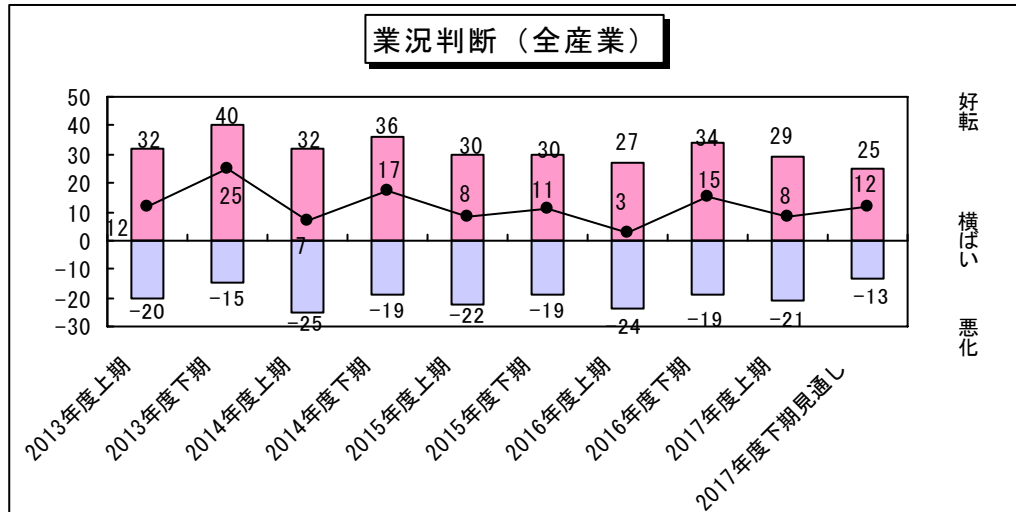
○ 2017年度下期（10～3月）の見通し

【全体】 +12（前期比+4）。

【部門別】 製造 +15（同+2）、非製造 +10（同+6）

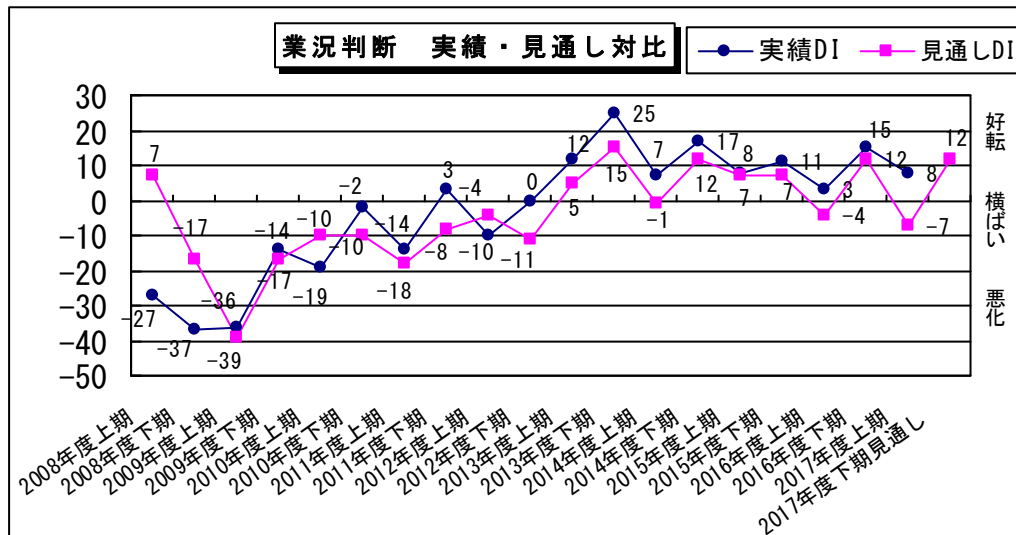
- ・全部門とも改善の見通し。
- ・全部門とも好転超（3期連続）。

<業況判断DI>



※DIは、業況判断が「好転」企業の割合 - 「悪化」企業の割合

<業況判断 実績・見通し対比表>



**【業種別】**

業況判断DI		2016/下	2017/上	2017/下(見通し)
+	食料品	40	20	33
	一般機械	80	50	10
	不動産	36	43	29
-	医療関連	▲ 6	▲ 17	▲ 11
	農業	33	▲ 20	▲ 40

- ・食料品、一般機械、不動産等の業種で、DI の高さや改善が見られる。
- ・医療関連、農業等の業種で、DI の低さや悪化が見られる。

**【業界動向】** (同業他社を含めた、業界全体に対する業況判断)

業界動向DI	2016/下	2017/上	2017/下(見通し)
全体	▲ 5	▲ 7	▲ 4
製造部門	15	9	13
非製造部門	▲ 17	▲ 18	▲ 15

- ・業況判断DI (自社) より、業界全体への評価は厳しい(傾向は類似)。
- ・特に非製造部門は3期連続で悪化超(業況判断DI は3期連続好転超)。

◇ **売上高** 2017年度上期実績は+13（1割悪化）、2017年度下期見通しは+15（2割改善）

○ 2017年度上期（4～9月）の実績

【全体】 +13（前期比▲1）

【部門別】 製造+12（同▲17）、非製造+14（同+10）

・全部門で2期連続好転超、製造部門は9期連続。

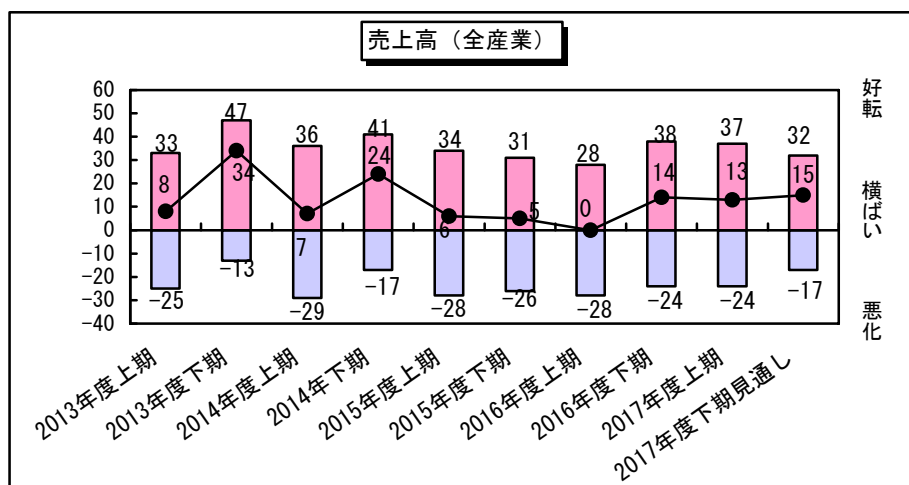
○ 2017年度下期（10～3月）の見通し

【全体】 +15（同+2）

【部門別】 製造+20（同+8）、非製造+11（同▲2）。

・全部門で3期連続好転超。

<売上高 DI>



※DIは、売上高が「増加」企業の割合 - 「減少」企業の割合

【売上高 関連 DI】

関連 DI		2016/下	2017/上	2017/下(見通し)
単価	全体	10	20	16
	製造	15	24	19
	非製造	6	18	14
数量	全体	11	12	12
	製造	21	14	24
	非製造	4	10	3
受注残・引合い	全体	13	18	19
	製造	24	26	29
	非製造	5	10	10

・「単価」、「数量」、「受注残・引合い」とも堅調推移している。

◇ **収 益** 2017年度上期実績は+3（11 ㊦悪化）、2017年度下期見通しは+1（2 ㊦悪化）

○ 2017年度上期（4～9月）の実績

【全 体】 +3（前期比▲11）

【部門別】 製造+6（同▲27）、非製造+1（同▲2）

- ・全部門で悪化だが全部門とも2期連続で好転超。全体・製造は9期連続。
- ・製造部門は▲27だが好転超の範囲内（前期が過去最高値の反動）。

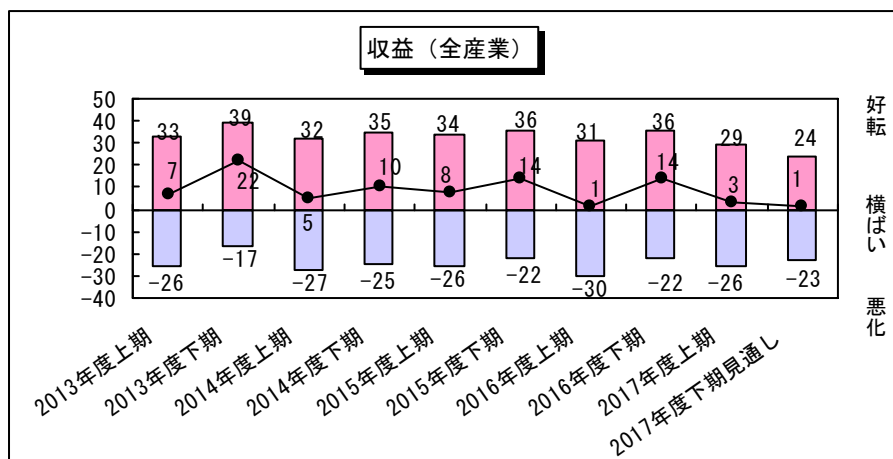
○ 2017年度下期（10～3月）の見通し

【全 体】 +1（同▲2）

【部門別】 製造+8（同+2）、非製造▲3（同▲5）

- ・全体・製造部門は好転超だが、非製造部門で悪化超（3期ぶり）。

< 収益 DI >



※DIは、収益が「増加」企業の割合 - 「減少」企業の割合

【収益 関連DI】

関連 DI		2016/下	2017/上	2017/下（見通し）
採算	全体	47	43	45
	製造	54	45	50
	非製造	43	41	42
資金繰り	全体	37	37	40
	製造	34	37	42
	非製造	38	37	39
借入金	全体	▲ 11	▲ 15	▲ 25
	製造	▲ 6	▲ 10	▲ 26
	非製造	▲ 14	▲ 18	▲ 24
経費	全体	28	31	29
	製造	24	26	25
	非製造	30	34	32
仕入費	全体	21	25	28
	製造	28	32	39
	非製造	16	21	19
人件費	全体	45	44	43
	製造	46	42	46
	非製造	45	46	41
燃料・光熱費	全体	11	22	23
	製造	21	22	22
	非製造	4	22	23

- ・「採算」、「資金繰り」は、非常に安定している。
- ・「経費」は、上昇傾向にある。特に「人件費」の増加が全部門で目立っている。

◇ **雇 用** 2017年度上期実績は▲40（4割悪化）、2017年度下期見通しは▲43（3割悪化）

○ 2017年度上期（4～9月）の実績

【全 体】 ▲40（前期比▲4）

【部門別】 製造▲43（同▲3）、非製造▲38（同▲5）

- ・2010年度下期以降、全部門で14期連続の人手不足。
- ・製造部門の▲43は過去最低値（1997年以降）。
- ・時系列推移…1997～2000年：+2、2001～2010年：▲2、2011～2017年：▲24

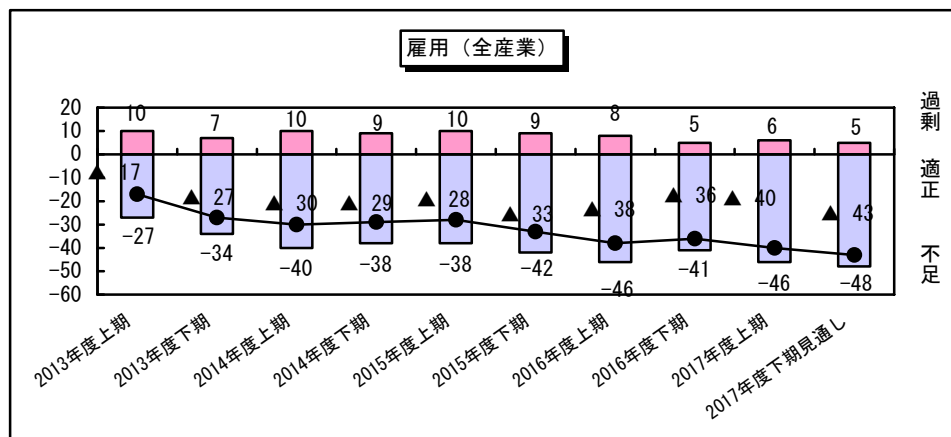
○ 2017年度下期（10～3月）の見通し

【全 体】 ▲43（同▲3）

【部門別】 製造▲46（同▲3）、非製造▲41（同▲3）

- ・全部門で15期連続の人手不足。
- ・全部門において過去最低値を更新（1997年以降）。

<雇用DI>



※DIは、雇用が「過剰」企業の割合 - 「不足」企業の割合



【雇用 関連 DI】

関連 DI		2016/下	2017/上	2017/下(見通し)
退職者数	全体	▲ 4	▲ 6	▲ 13
	製造	1	▲ 2	▲ 7
	非製造	▲ 8	▲ 9	▲ 17
採用者数	全体	15	7	3
	製造	12	3	▲ 3
	非製造	17	10	7
女性雇用	全体	11	10	8
	製造	1	4	2
	非製造	17	14	12
高齢者雇用	全体	19	21	18
	製造	23	16	14
	非製造	17	25	21
外国人雇用	全体	1	4	3
	製造	11	12	13
	非製造	▲ 5	▲ 2	▲ 3
給与（正社員）	全体	31	55	44
	製造	25	55	46
	非製造	35	55	43
給与（非正規）	全体	34	39	35
	製造	28	39	37
	非製造	38	39	33
賞与（正社員）	全体	29	29	28
	製造	37	36	30
	非製造	24	25	28
賞与（非正規）	全体	17	13	16
	製造	22	16	16
	非製造	14	11	16
働き方改革	全体	37	31	31
	製造	38	35	35
	非製造	36	28	28

- ・「給与」、「賞与」は、正社員・非正規を問わず、大幅な増加が続いている。
- ・「働き方改革」の意識は、製造・非製造部門とも高い。

## 【人手不足の対策】

人手不足・対策		2016/下	2017/上
採用強化	全体	54.6%	49.5%
	製造	49.6%	47.9%
	非製造	57.8%	50.5%
待遇改善・離職防止	全体	32.9%	32.9%
	製造	24.4%	28.1%
	非製造	38.3%	36.0%
女性・高齢者雇用	全体	20.2%	19.3%
	製造	16.0%	14.4%
	非製造	22.8%	22.5%
外国人雇用	全体	7.1%	6.5%
	製造	9.9%	8.9%
	非製造	5.3%	5.0%
既存人員のシフト変更	全体	11.9%	9.8%
	製造	12.2%	9.6%
	非製造	11.7%	9.9%
IT導入・省力化投資	全体	5.0%	6.3%
	製造	5.3%	6.8%
	非製造	4.9%	5.9%
外注・委託活用	全体	16.0%	20.1%
	製造	22.9%	29.5%
	非製造	11.7%	14.0%
事業縮小・再編	全体	3.9%	5.4%
	製造	6.1%	6.8%
	非製造	2.4%	4.5%
その他	全体	3.3%	1.1%
	製造	2.3%	1.4%
	非製造	3.9%	0.9%

- ・「採用強化」と「待遇改善・離職防止」を中心とした対策を行っている。
- ・「女性・高齢者雇用」や「外注・委託活用」の動きも見られる。

【働き方改革の取組内容】

働き方改革・内容		2016/下	2017/上
残業の削減	全体	51.4%	49.5%
	製造	56.5%	50.8%
	非製造	48.0%	48.6%
成果主義の導入	全体	11.6%	13.5%
	製造	12.2%	11.1%
	非製造	11.2%	15.3%
短時間勤務	全体	14.6%	15.8%
	製造	9.6%	11.9%
	非製造	17.9%	18.6%
在宅勤務	全体	2.0%	1.0%
	製造	2.6%	0.8%
	非製造	1.7%	1.1%
介護・子育て支援	全体	16.7%	14.5%
	製造	13.0%	16.7%
	非製造	19.0%	13.0%
賃金改善	全体	29.9%	30.4%
	製造	32.2%	35.7%
	非製造	28.5%	26.6%
非正規待遇の改善	全体	7.8%	9.9%
	製造	3.5%	7.9%
	非製造	10.6%	11.3%
定年の延長	全体	19.4%	19.5%
	製造	19.1%	19.8%
	非製造	19.6%	19.2%
副業の許可	全体	2.0%	2.3%
	製造	0.9%	1.6%
	非製造	2.8%	2.8%
フレックスタイム制	全体	4.8%	5.6%
	製造	5.2%	7.1%
	非製造	4.5%	4.5%
その他	全体	5.1%	4.0%
	製造	3.5%	4.8%
	非製造	6.1%	3.4%

- ・「残業の削減」と「賃金改善」を軸に進んでいる。
- ・今後は、「人手確保」→「生産性向上」に向けた、雇用環境の変化が注目される。

◇ **設備投資** 2017年度上期実績は43%（1%減少）、2017年度下期見通しは34%（9%減少）

○ 2017年度上期（4～9月）の実績

【全体】 43%（前期比▲1%）。

【部門別】 製造53%（同+7%）、非製造36%（同▲6%）

- ・企業の積極的な姿勢は変わらず。
- ・製造部門53%は過去2番目の高さ。

○ 2017年度下期（10～3月）の見通し

【全体】 34%（同▲9%）

【部門別】 製造44%（同▲9%）、非製造28%（同▲9%）

- ・全部門で減少したが、旺盛な設備投資需要は続く。

【設備投資の実施状況】

	2013	2013	2014	2014	2015	2015	2016	2016	2017	2017
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
全産業	41%	42%	41%	41%	38%	40%	47%	44%	43%	34%
製造	45%	41%	43%	45%	41%	47%	57%	46%	53%	44%
非製造	38%	43%	40%	38%	36%	35%	41%	42%	36%	28%

【設備投資 関連DI】

設備投資・関連DI		2016/下	2017/上	2017/下（見通し）
設備稼働率	全体	16	17	20
	製造	22	28	32
	非製造	11	8	10
既存設備の増強・更新	全体	43	43	43
	製造	49	52	51
	非製造	39	38	38
資金需要	全体	27	23	23
	製造	33	32	32
	非製造	22	18	18

- ・「設備稼働率」は、製造部門を中心に高水準を継続。
- ・「既存設備の増強・更新」における積極姿勢も続いている。

## 【設備投資の目的】

設備投資・目的		2016/下	2017/上
増産・拡大	全体	24.6%	24.3%
	製造	29.7%	37.9%
	非製造	21.3%	13.8%
新製品生産	全体	7.4%	6.7%
	製造	12.9%	11.2%
	非製造	3.9%	3.3%
IT技術革新	全体	9.8%	11.2%
	製造	5.0%	6.9%
	非製造	12.9%	14.5%
環境対策	全体	12.5%	13.8%
	製造	16.8%	12.9%
	非製造	9.7%	14.5%
更新・維持	全体	55.5%	60.1%
	製造	57.4%	64.7%
	非製造	54.2%	56.6%
研究開発	全体	3.5%	4.9%
	製造	4.0%	6.0%
	非製造	3.2%	3.9%
業務効率化	全体	35.9%	35.8%
	製造	40.6%	35.3%
	非製造	32.9%	36.2%
その他	全体	4.3%	6.0%
	製造	1.0%	4.3%
	非製造	6.5%	7.2%

- ・「更新・維持」の需要は、非常に高い（60.1%）。
- ・「業務効率化」も高く（35.8%）、「更新・維持」投資と同時進行している。

◇ **経営課題**

(単位：%)

経営課題	全体	製造	非製造
人手不足	52%	50%	53%
社員高齢化	41%	38%	42%
受注・販売競争激化	38%	40%	36%
人件費高	30%	25%	33%
売上不振	19%	16%	20%
後継者不足	17%	22%	14%
原材料高	16%	25%	10%
経費増（人件費以外）	15%	18%	13%
資金繰り	14%	16%	13%
原油価格	10%	5%	12%
品質管理	10%	16%	6%
設備不足	8%	12%	5%
為替相場	8%	7%	9%
研究開発力	8%	12%	6%
商品（製品）安	7%	12%	4%
セキュリティ	5%	3%	6%
海外展開	3%	3%	3%
環境・CSR 対応	2%	3%	2%
過剰在庫	2%	1%	3%
その他	2%	1%	2%
海外製品競合	1%	1%	1%
設備過剰	0%	0%	0%

・「人に関連する課題」が突出している（人手不足、社員高齢化、人件費高、後継者不足）。

**【今後の戦略】**

今後の戦略	全体	製造	非製造
人材確保	63%	64%	62%
営業強化	60%	56%	63%
コスト削減	35%	40%	31%
組織改革	19%	19%	19%
研究開発強化	10%	16%	6%
IT 技術導入	10%	9%	10%
新分野参入	8%	9%	8%
海外展開	5%	6%	4%
環境・CSR 対応	3%	4%	3%
その他	1%	1%	1%

・「人材確保」と「営業強化」が共通する最優先戦略。